

櫻坂を緩歩中

先輩からのメッセージ

パート2

Hさん（公立高校を一般受検）

緊張すると思いますが自分の実力を発揮できるように頑張ってください。

机の上に時計を置けなかったり、消しゴムのカバーを外さないといけなかったりと様々な指示がありますが、焦らずに試験監督に従ってください。

Iさん（公立高校を一般受検）

バスで高校に行くのであれば、もしも満員で乗れなかった時のために歩く道を調べておいた方がよいと思います。

Jさん（公立高校を一般受検）

下見の時、1つのバス停に人が集まり、元から乗っていた人も多かったため乗ることができなかつたら、何カ所かバス停と時間を調べておくと焦ることなく高校へ行けると思う。

テスト中、わからなくて焦っても、心の中で「落ち着け～」と思うことで、少しは普段通りになると思う。

K君（公立高校を一般受検）

洋式トイレの前に列ができるから、トイレは極力家で済ませるべき。

バスが乗れない可能性がある。（*下見の日は、満員で乗れなかった。）また、歩きになることも想定して、道を確認すべき。

※来春の公立高校一般受検では、下見はありません。

L君（公立高校を一般受検）

高校によっては靴をカーペットの上で履いてはいけない所や使ってはいけない階段があるので要注意！

Mさん（公立高校を一般受検）

最初は面接練習もまじめにやるのが恥ずかしかったりもするけど、どんどん練習するうちに上手くなるのが少し楽しかったりもするし、練習することで本番緊張せずにできるから頑張ろう！

N君 （公立高校を一般受検）

通勤ラッシュを避けて、早く行く必要がある。もしものために公衆電話を探しておき、使い方を練習しておくと良いかも。

平成に誕生した中学３年生へ

公衆電話は、①まず受話器をとります。②硬貨かテレフォンカードを入れます。③相手の番号を押します。（札幌市内の場合、「０１１」は不要です。）

ここで注意は、１００円硬貨を入れた場合、お釣りは出ません。

●公立高校の携帯電話の持ち込みについて

公衆電話の数もかなり減ってきた今日ですが、来春の道内公立高校の入試では、スマートフォン等の携帯電話を受検会場に持ち込めないこととなっております。

主な理由は、英語の聞き取りテストの際に着信音等がなり、検査に支障をきたす恐れがあるためです。

なお、私立高校入試につきましても、募集要項に「携帯電話は、音が鳴らない状態にしてください。」等、持ち込みを認めている高校以外は、公立高校に準じた指導をさせていただきます。

@coffee break 公衆電話

１９００（明治３３）年９月、上野と新橋の両駅に公衆電話が登場しました。

当時、５銭か１０銭の硬貨を投入して通話したそうですが、電話交換手はどのようにして５銭を入れたか、１０銭を入れたかを判断していたかをご存じですか。

答は「音」です。５銭を入れるとゴングの「チーン」という音、１０銭を入れると鐘の「ボーン」という音が鳴る仕組みになっており、電話交換手はその音から５銭を入れたか、１０銭を入れたかを判断したといえます。

ところで、昔、喫茶店などにピンクの電話（通称「ピンク電話」）が置いてあったのを覚えていないでしょうか。

ピンク電話はＮＴＴが管理する電話ではなく、喫茶店等の施設が管理する電話で、発信は公衆電話ですが、受信が固定電話となることから、正確には公衆電話ではないそうです。

ちなみに「ピンクの電話」は、竹内郁子さんと清水よし子さんのお笑いコンビです。